

バージョンアップ手順書



必ずお読みください！！

①全パソコンで賃貸管理システムを終了して下さい

賃貸管理システムを開いている状態で VER UP を行ないますと、
accdata が破損してしまいます。

②作業の前に必ずデータのバックアップをとってください。

バックアップをとっておけば、トラブルが生じた場合でも
バックアップ時点のデータに復旧することができます。

③データの場所は(Path)に記載されています。

データの格納場所は、下図のメニューNo.2 画面の左下に
記されています

「accdata」フォルダごとバックアップしてください。

「C」ドライブの中の
「Fnt-Win」フォルダの中
の中に
「accata」がある、
ということを示して
います。



例 C:\Fnt-Win\accdata

1. はじめに

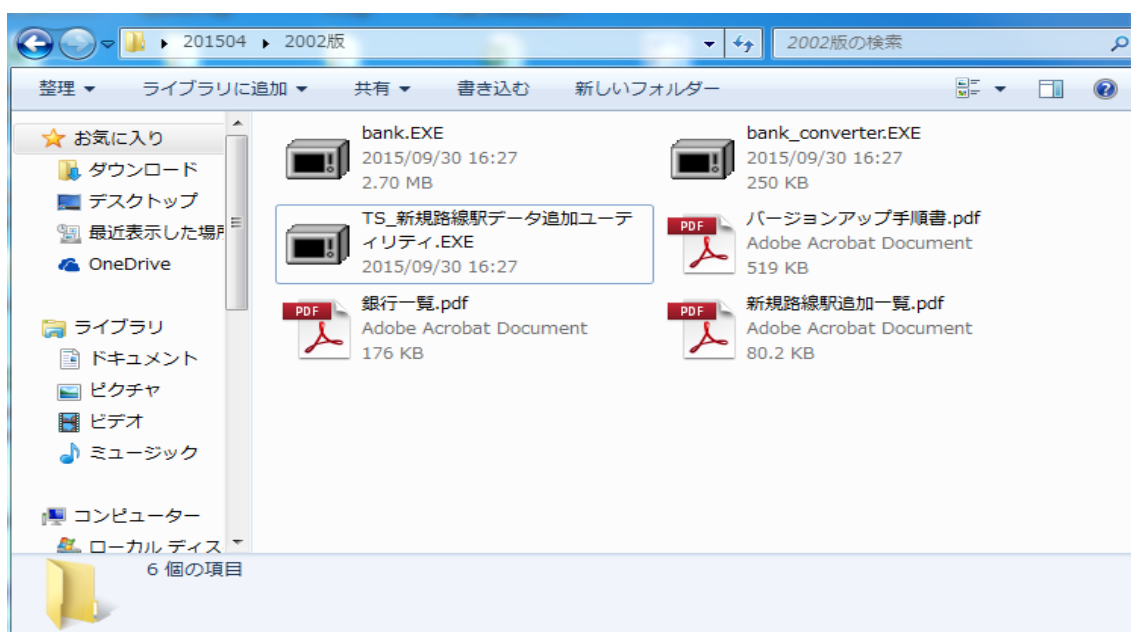
- ・バージョンアップは、必ず Ts データが格納されている PC で行なって下さい。
- ・FB 機能をご利用の場合は、引落請求データ作成前又は結果データ取込み後に行なってください。銀行データの整合性がとれずエラーとなります。

これから始めるバージョンアップでは以下のデータの更新を行います。

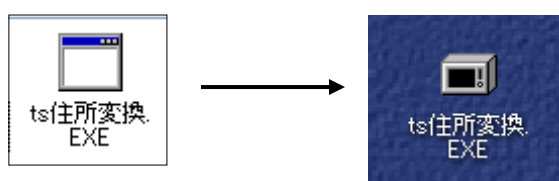
1. BANK.EXE の更新
2. Bank_converterWin.EXE の更新
3. TS_新規路線駅データ追加ユーティリティ.EXE の更新

ダウンロードしたファイル (TS_verup201910.zip) を解凍し、
以下のファイルがあるかご確認ください。

(以下作業の手順に関しましては Win7 での項目名になりますので Win8 または Win8.1 では多少項目名が違
う場合がございますのでご了承の程宜しくお願いします)



※ 下記のような電子レンジの形になっていないようでしたら、ドラックしてデ
ィスクトップに移してください。電子レンジの形に変わります。



2. ステップ1 — データの内容の確認

Ts データが格納されている PC に、弊社ホームページよりダウンロードされましたバージョンアップデータの内容を表示させます。

※ダウンロードデータは1つのフォルダにて管理をお願いいたします。

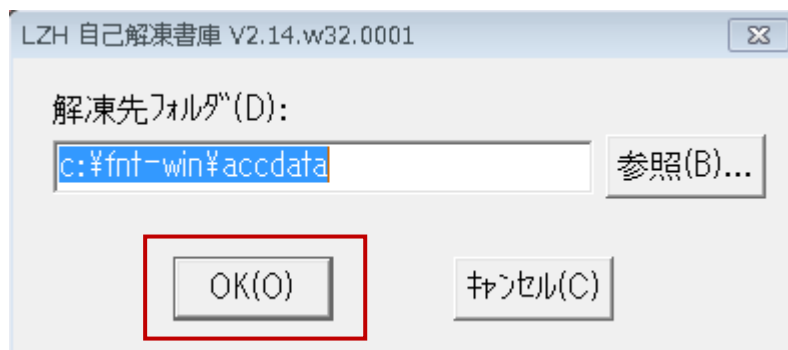
3. ステップ2 — BANK.EXE の更新

ここでは、銀行(りそな・東京三菱 UFJ 他)のデータを置き換えます。

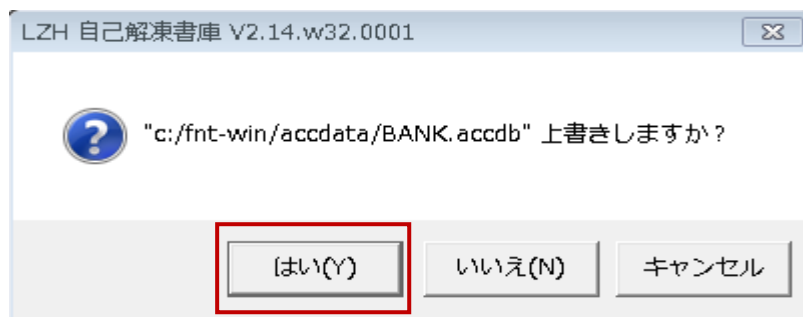
但しお客様にて作成した金融機関コード・支店番号は変換できません。 その場合は、リンク表示になりますので、手入力で修正してください。

1. 画面内の「BANK.EXE」をダブルクリックします。
2. インストールするフォルダの参照画面）が開きますので『OK』をクリックします。（自動的に c:\¥fnt-win¥accddata フォルダが表示されます。）

※Dドライブやその他のドライブにデータがある場合は「参照(B)」を押してデータフォルダを指定して下さい。



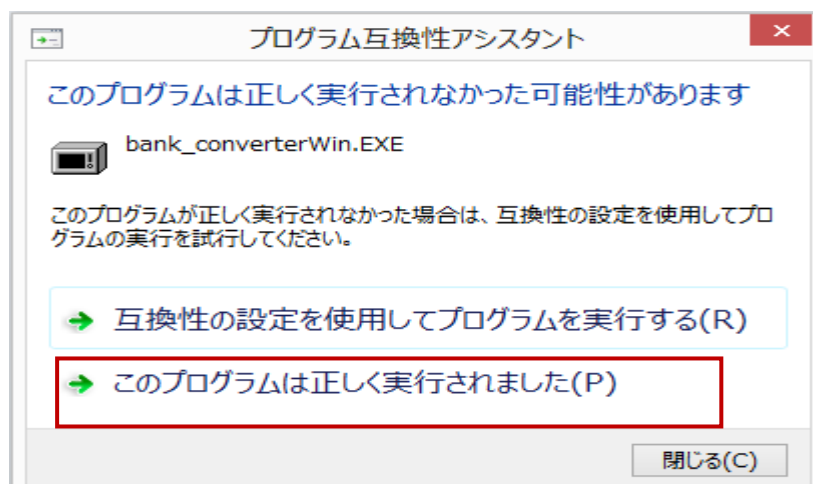
3. 『はい』 をクリックすると、解凍され新しいデータに置き換わります。



※ご注意

処理が終了した後に、下記の画面が開くことがございます。

『このプログラムは正しく実行されました(P)』を選び『閉じる』を押してください。

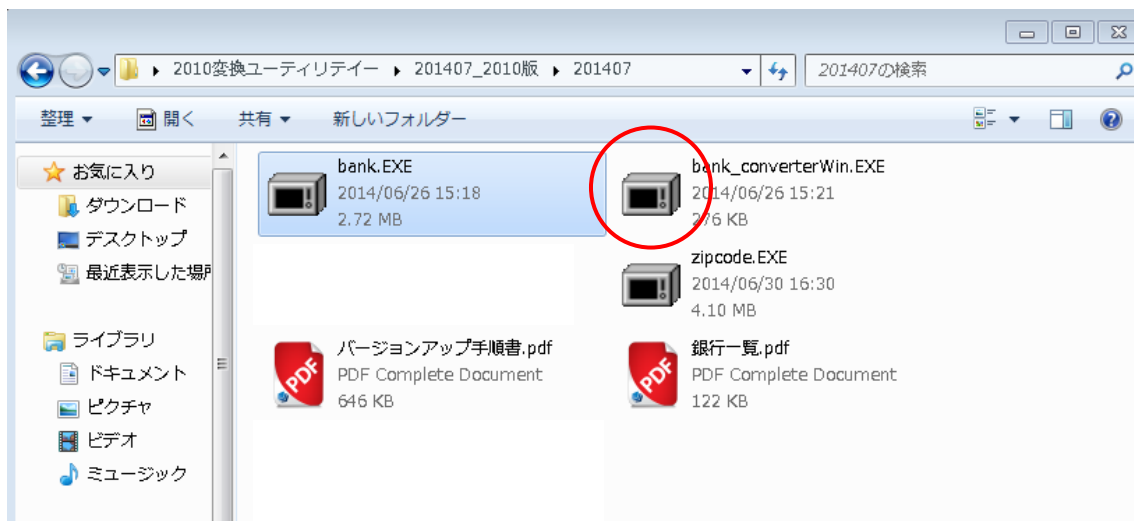


4. ステップ3 — Bank_converterWin.EXE の更新

ここでは、先に変換した銀行データから、旧支店を抽出し、新支店名・新店番号に自動変換します。

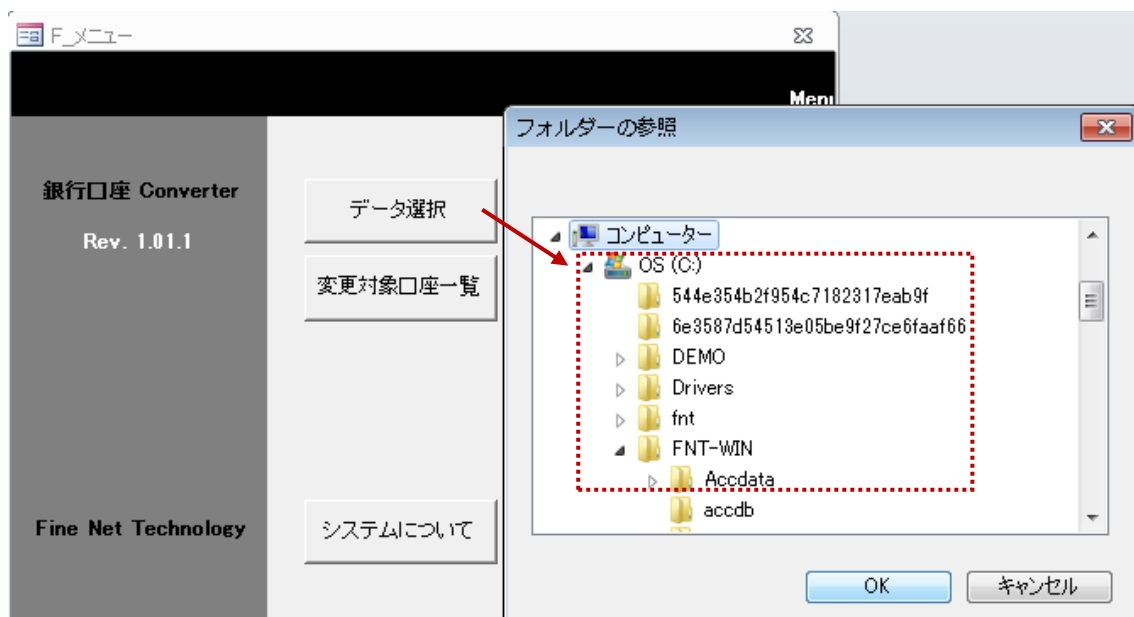
※ステップ2と同様に、お客様にて作成した金融機関コード・支店番号は変換できません。その場合は、ブランク表示になりますので、手入力で修正してください。

1. 画面内の「bank_converterWin.EXE」をダブルクリックします。



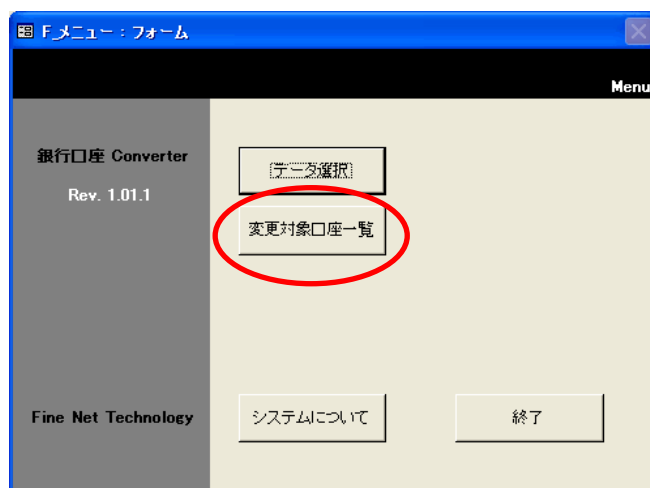
メニューフォームが表示されるまで「OK」を押します。「データ選択」ボタンをクリックするとフォルダの参照画面が開くので、データのあるフォルダを選択し「OK」をクリックします。(貸貸管理システムの No2 の画面左下の Path で確認してください)

例：c→fnt-Win→accdata



※Dドライブにデータが格納されている場合は、「C」の代わりに「D」を指定してください。（その他のドライブの場合は、データのあるドライブを指定して下さい。）

5. ここまでの操作が完了すると、「変更対象口座一覧」ボタンがクリックできるようになるのでこれをクリックします。



6. 自動変換するデータ全てにレ点をつけます。
何も表示されていない場合は、「閉じる」で
「5. ステップ4 - Ts住所変換 Win. EXE の更新」に進みます

旧銀行	旧支店	旧座名義	新銀行	新支店	新座名義	家主, 契約者, 入居者
010 りそな銀行	273 茅場町支店	太平住宅株式会社	010 りそな銀行	302 日本橋支店	新湯支店	
010 りそな銀行	302 日本橋支店	ハイテク妙妙ミカド				
190 西日本シティ銀行	024 舞鶴支店	原 修				家主(アルビオン)
190 西日本シティ銀行	208 赤坂門支店	ハラオサム				

Buttons: 印刷, 自動修正実行, 閉じる

Buttons: クリア, セット, 反転, 中止

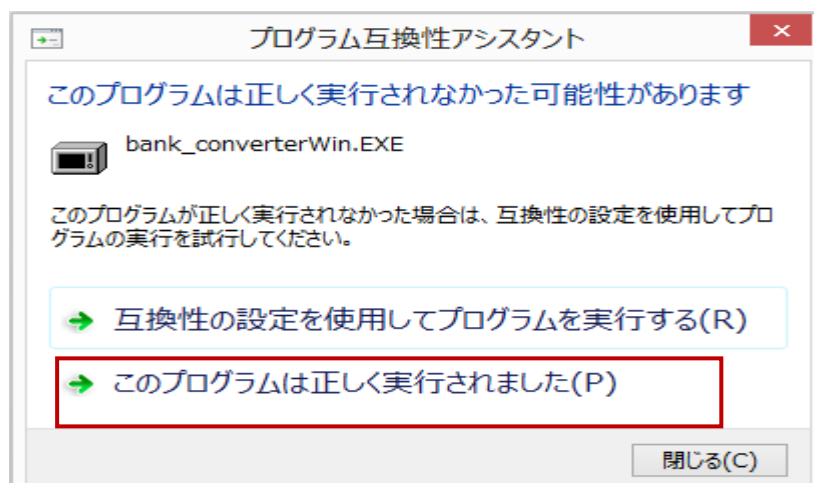
左上のボタンを押すと、一括処理ができます。

7. 表示されたデータを印刷します。「印刷」をクリックしてください。
8. 「自動修正実行」をクリックして、データを自動変換します。
9. 先ほどのメニューフォームに戻りましたら「終了」をクリックします。

※ご注意

処理が終了した後に、下記の画面が開くことがあります。

『このプログラムは正しく実行されました(P)』を選び『閉じる』を押してください。



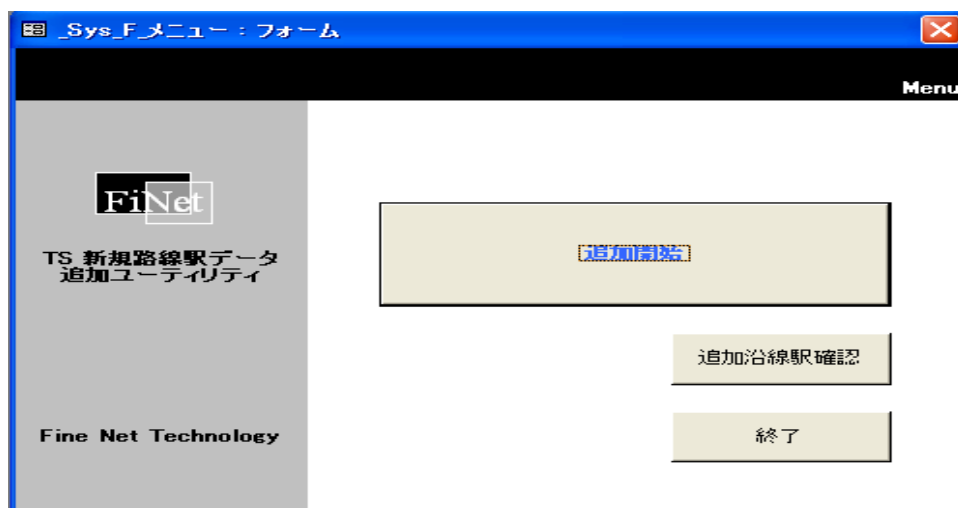
5. ステップ4 – 新規路線駅追加.EXEの更新

最後に新規路線追加を更新します。

1. データ内の「TS_新規路線駅追加ユーティリティ.EXE」をダブルクリックします。

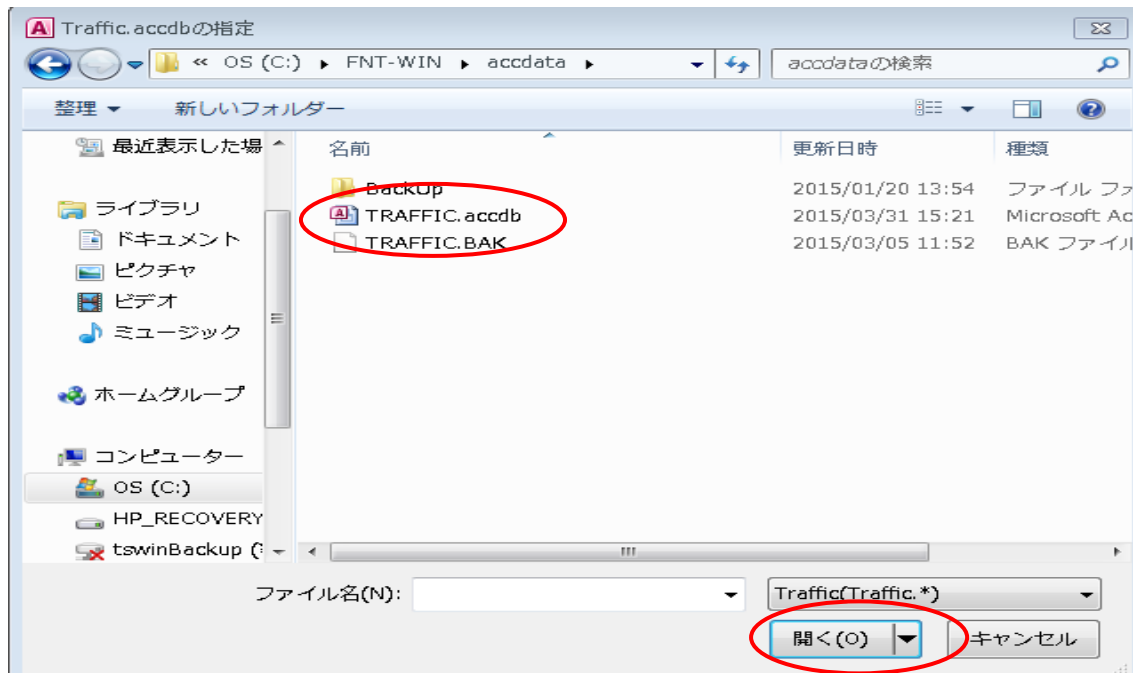


2. インストールするフォルダの参照画面が開きますので「OK」をクリック
下図が出るまで「OK」を押してください。



3. 「追加開始」をクリックします。メッセージに従い「OK」を押していきます。

4. 次の図が表示されましたら accdata のあるフォルダを選択します。
(例 C → FNT-WIN → accdata)



5. 「TRAFFIC.accdb」を選択し「開く」を押します。

※新規路線駅追加.EXE は 2 回行わないで下さい。データが 2 重に登録されてしまいます。

以上でバージョンアップは終了です

※ご注意

処理が終了した後に、下記の画面が開くことがございます。

『このプログラムは正しく実行されました(P)』を選び『閉じる』を押してください。

